

まんまんちゃん ニュース



株式会社 高田
大聖寺永町38の1
☎ 72-1275
第25号 平成30年春

みきおちゃんご挨拶

暦は春となりましたが、まだ残雪はちらほらあります。それにしても今年の冬は本当に大変な大雪でした。スタッフ皆ひかばって雪かきしたのも、今では良い思い出となりました。また冬季オリンピックでは、たくさんの感動をいただき、私の中のウィンタースポーツ魂が燃え上がりました！そして2月のタカダの終活塾には、足元が悪く雪が降りしきる中でしたが、大勢の方々に集まっていただき、本当に感謝いたします！今後も色々な終活塾を企画しております。お楽しみに！



探検チョロチョロぼくのまち



「福井地震から70年」
今から70年前の昭和23年6月28日夕方、丸岡町付近を震源とする大地震が発生しました。福井県内では4千人近くがお亡くなりになり、大聖寺地区でも深刻な被害を受けました。タカダ近くの菅生石部神社の狛犬はひっくり返ったそうです。この年に生まれたYさんに当時のお話をうかがいました。「私はまだ生まれる前で、母親のお腹の中におったんや。畑仕事もしていた母親が言うには、まあゆれてゆれて。お腹をかかえて畑が転がってあったらしい。大きな地震は60年から100年周期で起こるとも言われています。ある専門家は「災害発生時にどう動くかを家族で話し合うのが第一歩」とおっしゃいます。油断せずに万が一に備えましょう。

なるほど！ガ・おくり道～納棺～

納棺とはお召し物のお着替えやお化粧を行い、大切な方の旅立ちの支度をし、棺にお納めする儀式です。納棺の時間は、故人様とご遺族の大切なひとときです。タカダでは昨年8月より、故人様にご遺族皆様の「ありがとう」の気持ちを込めたお支度を、との思いで「ありがとう納棺」をさせていただいております。専門の納棺スタッフが洗髪してヘアセット、お体のケア、手足の爪切り、ひげ剃り、お顔のケアと化粧、そして納棺という流れになります。見ていてもやさしく丁寧で、とても気持ちよさそうです。ご希望であれば思い出が詰まった洋服やスーツ、着物に着替えたり、一緒にお化粧することもできます。実際に「前より若くきれいになった」「口が閉じて自然な感じになった」「まるで寝ているみたい」というお喜びのお声をいただくようになりました。これからも皆様に喜んで頂きますよう、真摯に取り組んでまいります。



タカダの終活塾のご案内

4月2日月曜日に会員様限定タカダの終活塾を開催いたします。第一部では行政書士さんをお招きし「今、話題の生前整理について」をお話していただきます。また、第二部では、プロの納棺師さんによる模擬納棺式を行います。日常ではあまり目にする事のない「ありがとう納棺」をこの機会にぜひご覧ください。

編集後記

今年は、数年に一度と言われる大雪が何度も降り、特に2月は記録的豪雪となってしまいました。除雪や通勤通学、買い物など日常生活は大変なことばかりでした。けれども近所同士、車の運転者さん同士などたくさんの人同士が助け合う場面に何度も巡り合い、気持ちが温かくなることもありました。「困った時はお互い様」いつもそんな風にさりげなく動ける人がありたいと思います。

ニュースレターのご感想やご質問などお気軽にご連絡下さい。
アドレス <http://www.takada-sougri.co.jp>
FAX 72-1265

